

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		地域情報管理事務事業						予算事業名		地域情報管理事務経費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令							
				02	01	12	0502	経常経費								
総合計画体系		5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営)							事業の区分		主要事業					
		5-3情報化社会に対応した行政体制づくり (市民生活・行政・情報														
		①行政サービスの充実							担当課係等		総務課					
5電子行政の推進							総務係									
事業期間		継続 (年度～令和 4年度)														
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか) 】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
情報通信基盤整備を促進し、市民の利便性向上と職員の事務効率化を図る。								業務を遂行するにあたり、I C Tの利活用は必須であり、行政職員や教員等の事務効率化や市民サービスの向上を図る。								
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか) 】								【対象 (だれに対して・何に対して行うのか) 】								
市の公共施設間を結ぶ地域イントラネットワーク及び職員用システムの整備・運用と、市民等へ電子申請・施設予約・地理情報等のサービスを提供するとともに、災害時の安全対策やセキュリティ対策を実施する。								市民及び行政職員、教職員、文化・スポーツ振興事業団職員								
【令和 2年度 事業内容】								【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				
地域イントラネットワーク及び職員用システムの安定稼働のための運用管理								地域イントラネットワーク及び職員用システムの安定稼働のための運用管理				地域イントラネットワーク及び職員用システムの安定稼働のための運用管理				
■事業費																
				H30年度		R01年度										
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0									
	県		支	出	金	0	0									
	地		方		債	0	0									
	そ		の		他	0	0									
	一		般	財	源	97,331	106,845									
歳 入 計 (千 円)				97,331		106,845										
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)				金額 (千円)		金額 (千円)									
	11	需用費			0		100									
	12	役務費			11,586		14,273									
	13	委託料			44,347		47,633									
	14	使用料及び賃借料			34,829		33,578									
	15	工事請負費			0		281									
	19	負担金補助及び交付金			6,569		10,980									
歳 出 計 (千 円) (A)				97,331		106,845										
伸 び 率 (%)						9.77										
備 考	総合計画 1 4 1 ページ 予算書 4 7 ページ															

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	委託業者との定例会の開催	回	目標	12.00	12.00	12.00
	ネットワーク及びシステムの安定稼働のため、委託業者との定期的な会合を行う。		実績	12.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	ネットワーク及びシステムの安定稼働	年	目標	1.00	1.00	1.00
	年間を通じたネットワーク及びシステムの安定稼働		実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	地域イントラネットワーク及び職員用システムの安定稼働のため必要な事業である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	地域イントラネットワークは市が運用管理するべきであり、職員用システムについても同様である。
	手段の妥当性	A 妥当である	ネットワーク及びシステムの運用管理に係る手段は妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	現段階で妥当であると考える。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	受益者の偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	
進捗度	事業の進捗	A 順調である	ネットワーク及びシステムは安定稼働しており、おおむね順調に進捗している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
ネットワーク及びシステムは安定して稼働しているが、行政及び教育環境のICT化の進捗に伴い、通信量の増加が懸念される。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
引き続き安定的に運用していくために、トラフィック解消のための方策を検討していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 継続的に業務を実施していくために、必要な事業である。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	